



2021.4 No 8

はたけ便り

NPO 法人みんなのプロジェクト
福岡市早良区梅林6-23-3
Mail: hatakenoie2020@gmail.com

「大切にしてきたもの」

水野 英尚

4月から「SheardHome はたけのいえ」には、新たに1名を加えて4人の共同生活が始まりました。ここでは「お願いします」といった関係性よりも、「お互い様」という関係性がより際立っているように感じます。最後に入居したY君は、ウィークデー(月～金)はお母さんが一緒に泊まり込み、週末は実家に戻るという生活を現在進行中です。こうして寝食を共にして過ごしていくと、Y君とお母さんが「大切にしてきたもの」が次第に分かってきます。と同時に、これまで昼夜を問わずY君のケアを担ってきた「大変さ」が、生活を共にすることでより深く理解できます。しかし、この「大変さ」に焦点を当てて、それを軽減する目的の支援の構築なら、こうした生活は、家族に負荷をかけるだけになってしまいます。そうではなくて、これまで家族が「大切にしてきたもの」を、他者と共有し互いに理解を深めていくための準備となるのなら、この期間は有意義なものです。この空間で互いが心を開き、持てるものを持ち寄り、互いが助け合う生活することで、やがて「お互い様」の関係性を創り出します。それにより「ケアの大変さ」は乗り越えていけるのだと、私は考えています。ここで生活をしている、「言葉」で自分の想いを伝えることが困難な彼(女)たちは、実に「=大変さ」でないことを、これまで生活を共にしてきた家族はよく知っています。それは「わが子」への愛情もさることながら、もっと広く普遍的な価値を教えられてきたからです。ところが、そうしたことを他者に伝え理解してもらうためには、生活を共にして過ごせる場所と時間が必要です。「SheardHome はたけのいえ」は、固有な人と固有な家族が共同生活を始めているのですが、ここは閉鎖された空間ではありません。この場所は常に外に開かれることで、ここで暮らす彼(女)たちと共に過ごし、家族と共に大変さを分かち合い、家族が「大切にしてきたもの」を、関わりのある人たちもまた、大切にしていくことを目指しています。そして、こうした暮らしを願う人たちとの出会いや、新たな暮らしの場が増えていくことが、私たちの願いです。自分たちの暮らしをあきらめるのではなく、今あるものを持って、開いたときにそれはできると信じています。



いのちの自立、で暮らす ～新たな住まい方へのチャレンジ～

参加無料
予約先着
120名様

2021年7月10日(土)

福岡市科学館6階サイエンスホール

9:30 開場
10:00 上映「普通に死ぬ～いのちの自立～」
12:00 休憩
13:00 「SheardHome はたけのいえ」の取り組み
13:20 シンポジウム
15:20 会場とディスカッション
16:00 終了

☆シンポジスト☆

西宮市社会福祉協議会常務理事 清水 明彦さん
有限会社しえあーど代表 李国本 修慈さん
マザーバード映画監督 貞末 麻哉子さん



参加申込 : hatakenoie2020@gmail.com に氏名と人数をお知らせご予約下さい。
また、車いすでご参加の方はその旨をお知らせください。 お問合せ先：090-7921-7584(水野)
※新型コロナ感染拡大によっては、シンポジストのリモート出演に変更する可能性があります。

主催：NPO法人みんなのプロジェクト 協力：(医)にのさかクリニック、地域生活ケアセンター小さなたね、地域生活応援たねプラス
後援：(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、RKB 毎日放送

「SharedHome はたけのいえ」 介助者募集！！

～あなたの `お時間、少しだけないででしょうか？～

資格・内容等について知りたい方は、以下の連絡先迄お気軽にどうぞ！

連絡先:090-7921-7584(水野)